

# 田島弥平旧宅

瓦屋根に換気設備を取り付けた  
近代養蚕農家の原型

## 歴史

田島弥平旧宅がある島村は、江戸時代から蚕の卵(蚕種)製造の盛んな地域でした。田島弥平は良い蚕種をつくるための養蚕法を研究、通風を重視した「清涼育」を大成し、1863(文久3)年に越屋根のある住居兼蚕室を完成しました。弥平が著した『養蚕新論』、『続養蚕新論』によりこの構造は各地に広まり、日本の近代養蚕農家建築の原型となりました。また、弥平らは1879(明治12)年から1882(明治15)年までイタリアに蚕種を運び、現地で直接販売(直輸出)を行いました。この際に西欧の文化と共に持ち帰った顕微鏡で弥平は蚕の病気の研究を行いました。富岡製糸場が繭の改良運動を始めると、田島家は外国種や一代雑種の試験飼育に協力しました。

## 見どころ 『養蚕新論』に描かれた姿

田島弥平旧宅には、住居兼蚕室をはじめ蚕種製造に関わる各種建造物が残されています。

### ●住居兼蚕室

換気設備である越屋根(檜)が付いた瓦葺き総二階建ての建物です。一階が住居で二階が蚕室となっています。通風を重視し窓が多く越屋根は棟部全体にわたって造られました。二階の北隅には後に顕微鏡室が増築されています。

### ●桑場

この建物では桑を一時的に保管し、蚕の成長に合わせて食べやすいように桑の葉を加工していました。

### ●井戸

この地域は洪水が多かったため、生活や蚕種製造に大切な井戸は住居の基礎より高めに積んだ石垣に囲われています。



▲『養蚕新論』挿絵



◀桑場

▲井戸



▲住居兼蚕室

## 見学案内

場所：伊勢崎市境島村字新地2243

見学：個人住宅のため見学可能範囲は庭まで。建物内部は立入禁止。団体は要予約。

交通：JR本庄駅からタクシーで約20分。  
関越自動車道本庄児玉ICから車で約20分。  
駐車場は「島村蚕のふるさと公園」。

関連施設：田島弥平旧宅案内所(9:00～16:00)に展示有り。年末年始休業。

※最新情報、団体予約は下記問い合わせ先へ。

問い合わせ：伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-63-3636  
田島弥平旧宅案内所 TEL 0270-61-5924

ウェブサイト：<http://www.city.isesaki.lg.jp/>

